

平成23年度

”釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ” 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成22年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ 代表 桐木 茂雄					2012/3/31		
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
①まちを知る・人を知る			1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan、900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caff� kaiyodai、gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人 (主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
			2	シーニックカフェスタンプラリーの実施(情報拠点シーニックカフェの連携)	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan、900草原 Home Sweet Home、caff� kaiyodai、gelato siretoco)	●スタンプラリー実施: 平成23年4月29日～10月31日	126名 (応募者)		○ルート内4箇所の飲食店(カフェ)が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。釧路市のほか、札幌市、東京都、帯広市などからの参加者が目立った。
			3	シーニックカフェ・道の駅・管内空港と連携したスタンプラリーの実施	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan、900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caff� kaiyodai、gelato siretoco) 道の駅(しらぬか恋間、阿寒丹頂の里、摩周温泉、知床らうす、おたじとう、スワン44ねむる、厚岸グルメパーク) 管内空港(たんちょう釧路空港、根室中標津空港)	●スタンプラリー実施: 平成23年7月16日～10月31日	1,319名 (応募者)		○ルート内のシーニックカフェと道の駅、空港が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。応募者は釧路市のほか、札幌市や東京都をはじめ関東、近畿、中部地方等からの観光客が多数見られた。
			4	沿道花壇への植栽	阿寒町花いっぱい運動推進協議会、阿寒湖温泉連合町内会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、弟子屈町自治会連合会、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、標茶町虹別市街町内会	平成23年6月(各団体個別実施)	1433人 (主催側)		○ルート内9団体が、居住地域の沿道へ植栽を行った。ルートHPでの活動状況の更新などを行い、活動のPRも併せて実施した。
			5	地下歩行空間(札幌市)でのPR活動	ルート運営委員会	平成23年7月24日～25日	10人(主催側) 約1000人(参加者)		○札幌市の地下歩行空間において、地域の食材の販売会を行うとともに、地域の魅力についてのPRを行った。
			6	ルートHPの更新	情報広報部会	通年(随時)	地域ライター37人(主催側)年間約4000アクセス(参加者)		○地域住民がプログライターとなって旬な観光情報の発信を行った。各プログライターが、個人の趣味や職域を活かした記事を更新している。HPアクセス数が減少傾向にあることから、検討が必要。
②自然環境を知る・活かす			7	既存植樹活動への協力	虹別コロカムイ会	平成23年5月15日	20人(主催側) 380人(参加者) (ルート参加15人)		○ルート内で実施された既存植樹活動への協力をを行った。
			8	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成23年10月15日	10人(主催側) 20人(参加者)	A - 3	○弟子屈飛行場跡地での森づくり活動をH22年度より開始し、シーニックの森制度でのカーボンオフセットの森づくりだけでなく、飛行場跡地の自然再生の森づくりも目指している。
③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす			9	「釧路湿原・阿寒・摩周パワフルツーリズム」推進体制づくり	ルート運営委員会	平成23年11月15日～17日	4人(主催側) 2人(参加者)	A - 2	○インターネットの公募から、東京都より2名の調査員(高齢者+同伴者)を招き、介助ヘルパーが同行する形でのモニターツアーを実施した。
④温泉を知る・活かす			10	情報拠点シーニックカフェの連携「Pan de Pan」	Pan de Pan	通年	月150人 (来客数)		○シーニックカフェPan de Panでは、カフェ入口前に足湯を設置し、温泉地としてのおもてなしを行っている。
			11	情報拠点シーニックカフェの連携「摩周温泉Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	通年	月300人 (来客数)		○摩周温泉Home Sweet Homeのある「道の駅 摩周温泉」では、足湯を併設しており、温泉地としてのおもてなしを行っている。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ 代表 桐木 茂雄					2012/3/31		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
	⑤体験活動を知る・活かす	8	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成23年10月15日	10人(主催側) 20人(参加者)	A - 3	○弟子屈飛行場跡地での森づくり活動をH22年度より開始し、シーニックの森制度でのカーボンオフセットの森づくりだけでなく、飛行場跡地の自然再生の森づくりも目指している。	
		9	「釧路湿原・阿寒・摩周パブリックスペース」推進体制づくり	ルート運営委員会	平成23年11月15日～17日	4人(主催側) 2人(参加者)	A - 2	○インターネットの公募から、東京都より2名の調査員(高齢者+同伴者)を招き、介助ヘルパーが同行する形でモニターツアーを実施した。	
2) 食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人 (主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。	
		2	シーニックカフェスタンプラリーの実施(情報拠点シーニックカフェの連携)	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●スタンプラリー実施: 平成23年4月29日～10月31日	126名 (応募者)		○ルート内4箇所の飲食店(カフェ)が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。釧路市のほか、札幌市、東京都、帯広市などからの参加者が目立った。	
		3	シーニックカフェ・道の駅・管内空港と連携したスタンプラリーの実施	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco) 道の駅(しらかば恋間、阿寒舟頂の里、摩周温泉、知床らうす、おたいとう、スワン4.4ねむる、厚岸グルメパーク) 管内空港(たんちよう釧路空港、根室中標津空港)	●スタンプラリー実施: 平成23年7月16日～10月31日	1,319名 (応募者)		○ルート内のシーニックカフェと道の駅、空港が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。応募者は釧路市のほか、札幌市や東京都をはじめ関東、近畿、中部地方等からの観光客が多数見られた。	
	5	地下歩行空間(札幌市)でのPR活動	ルート運営委員会	平成23年7月24日～25日	10人(主催側) 約1000人(参加者)			○札幌市の地下歩行空間において、地域の食材の販売会を行うとともに、地域の魅力についてのPRを行った。	
	②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	12	情報拠点シーニックカフェの連携「900草原Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	平成23年4月25日～11月30日	月100人 (来客数)			○弟子屈産の野菜や果実、摩周そばを使ったメニューを販売するなど、地域食材を積極的に使用している。
		13	情報拠点シーニックカフェの連携「caffé kaiyodai」	シーニックカフェ「caffé kaiyodai」、中標津町商工会青年部	平成23年4月25日～11月30日	2500人 (来客数)			○中標津町で採取したハチミツを使ったソフトクリームを販売するなど、地域食材を積極的に使用している。
		10	情報拠点シーニックカフェの連携「Pan de Pan」	Pan de Pan	通年	月150人 (来客数)			○地元の野菜や果実を使ったパンやスイーツを販売するなど、地域食材を積極的に使用している。
		11	情報拠点シーニックカフェの連携「摩周温泉Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	通年	月300人 (来客数)			○弟子屈産の野菜や果実、摩周そば、エジシカの肉を使ったメニューを販売するなど、地域食材を積極的に使用している。
		14	情報拠点シーニックカフェの連携「gelato siretoco」	シーニックカフェ「gelato siretoco」、中標津町商工会青年部	通年	2000人 (来客数)			○中標津牛乳や近郊の素材を使ったジェラートを販売しており、地域食材を積極的に使用している。
	3) 文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	15	機かシーニックパネル展の開催(釧路空港・中標津空港・道の駅「摩周温泉」)	景観まちづくり部会	釧路空港(6月10日～10月7日)、中標津空港(7月14日～10月31日)、道の駅「摩周温泉」(11月2日～12月31日)	1000人 (来客数)		○昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真やルート内巡回写真展として展示している。昭和初期の生活や道路状況など、地域の文化を伝えている。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ 代表 桐木 茂雄						2012/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ、整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	①浴道景観を整える	15	懐かしーニックパネル展の開催(釧路空港・中標津空港・道の駅「摩周温泉」)	景観まちづくり部会	釧路空港(6月10日～10月7日)、中標津空港(7月14日～10月31日)、道の駅「摩周温泉」(11月2日～12月31日)	1000人(来客数)		○昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として展示している。昭和初期の生活や道路状況など、地域の文化を伝えている。	
		16	リレー清掃「中標津奉仕清掃」	中標津町役場	平成23年5月29日	100人(ルート参加20人)		○中標津町役場が主催する清掃活動に、中標津町商工会青年部を中心に、20名参加した。	
		17	リレー清掃「弟子屈リア 摩周湖クリーンウォーク2011」	弟子屈町役場	平成23年6月4日	200人(ルート参加19人)		○弟子屈町役場が主催する清掃活動に、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ボランティアネットワークチャレンジ隊、中標津町商工会など、19名が参加した。	
		4	浴道花壇への植栽	阿寒町花いっぱい運動推進協議会、阿寒湖温泉連合町内会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、弟子屈町自治会連合会、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、標茶町虹別市街町内会	平成23年6月(各団体個別実施)	1433人(主催側)		○ルート内9団体が、居住地域の浴道へ植栽を行った。ルートHPでの活動状況の更新などを行い、活動のPRも併せて実施した。	
	②物語のあるみちをつくる	②観光客を受け入れる環境を整える	15	懐かしーニックパネル展の開催(釧路空港・中標津空港・道の駅「摩周温泉」)	景観まちづくり部会	釧路空港(6月10日～10月7日)、中標津空港(7月14日～10月31日)、道の駅「摩周温泉」(11月2日～12月31日)	1000人(来客数)		○昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として展示している。昭和初期の生活や道路状況など、地域の文化を伝えている。
			1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原 Home Sweet Home、摩周温泉 Home Sweet Home、caff� kaiyodai、gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人(主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
	①おもてなしの質を整える	①おもてなしの質を整える	2	シーニックカフェスタンプラリーの実施(情報拠点シーニックカフェの連携)	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原 Home Sweet Home、caff� kaiyodai、gelato siretoco)	●スタンプラリー実施: 平成23年4月29日～10月31日	126名(応募者)		○ルート内4箇所の飲食店(カフェ)が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。釧路市のほか、札幌市、東京都、帯広市などからの参加者が目立った。
			3	シーニックカフェ・道の駅・管内空港と連携したスタンプラリーの実施	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原 Home Sweet Home、caff� kaiyodai、gelato siretoco)	●スタンプラリー実施: 平成23年7月16日～10月31日	1,319名(応募者)		○ルート内のシーニックカフェと道の駅、空港が連携し、地域の魅力とともにドライブ情報などを発信した。応募者は釧路市のほか、札幌市や東京都をはじめ関東、近畿、中部地方等からの観光客が多数見られた。
			9	「釧路湿原・阿寒・摩周バリエーションズ」推進体制づくり	ルート運営委員会	平成23年11月15日～17日	4人(主催側) 2人(参加者)	A - 2	○インターネットの公募から、東京都より2名の調査員(高齢者+同伴者)を招き、介助ヘルパーが同行する形でモニターツアーを実施した。
	②既存施設の質を整える	②既存施設の質を整える	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ(pan de pan、900草原 Home Sweet Home、摩周温泉 Home Sweet Home、caff� kaiyodai、gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人(主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ		報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックハイウェイ 代表 桐木 茂雄					2012/3/31		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人 (主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。	
	②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	9	「釧路湿原-阿寒-摩周パブリックツーリズム」推進体制づくり	ルート運営委員会	平成23年11月15日～17日	4人(主催側) 2人(参加者)	A - 2	○インターネットの公募から、東京都より2名の調査員(高齢者+同伴者)を招き、介助ヘルパーが同行する形でモニターツアーを実施した。	
4) 各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	6	ルートHPの更新	情報広報部会	通年(随時)	地域ライター37人・年間 約4000アクセス		○地域住民がブログライターとなって旬な観光情報の発信を行った。各ブログライターが、個人の趣味や職域を活かした記事を更新している。HPアクセス数が減少傾向にあることから、検討が必要。	
		1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人 (主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。	
	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人 (主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。		
	6	ルートHPの更新	情報広報部会	通年(随時)	地域ライター37人・年間 約4000アクセス		○地域住民がブログライターとなって旬な観光情報の発信を行った。各ブログライターが、個人の趣味や職域を活かした記事を更新している。HPアクセス数が減少傾向にあることから、検討が必要。		
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる	8	①地域(こども達)への環境教育	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成23年10月15日	10人(主催側) 20人(参加者)	A - 3	○単子屈飛行場跡地での森づくり活動をH22年度より開始し、シーニックの森制度でのカーボンオフセットの森づくりだけではなく、飛行場跡地の自然再生の森づくりも目指している。	
		9	②来訪者(観光客)へのインテグレーション	ルート運営委員会	平成23年11月15日～17日	4人(主催側) 2人(参加者)	A - 2	○インターネットの公募から、東京都より2名の調査員(高齢者+同伴者)を招き、介助ヘルパーが同行する形でモニターツアーを実施した。	
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	—	—	—	—	—	—	—	
		1	②自然を保護・育成する仕組みをつくる	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人 (主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。	
	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	8	そららの森 植樹会	景観まちづくり部会(Clear Stream Scenic Forest推進プロジェクト)	平成23年10月15日	10人(主催側) 20人(参加者)	A - 3	○単子屈飛行場跡地での森づくり活動をH22年度より開始し、シーニックの森制度でのカーボンオフセットの森づくりだけではなく、飛行場跡地の自然再生の森づくりも目指している。
			1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人 (主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
	②地域経済循環の仕組みを創る	1	情報拠点シーニックカフェの連携	シーニックカフェプロジェクト、参加シーニックカフェ (pan de pan, 900草原 Home Sweet Home、摩周温泉Home Sweet Home、caffé kaiyodai, gelato siretoco)	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	30人 (主催側)	A - 1	○ルート内5箇所の飲食店(カフェ)が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。	

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：情報拠点シーニックカフェの連携(シーニックカフェプロジェクト)

- 【概要】 シーニックカフェプロジェクトでは、ルート内5箇所の飲食店（カフェ）が連携し、情報拠点として、ドライブ情報や地域の食情報を発信した。年2回のカフェミーティングを実施し、3エリア5箇所のカフェのメンバーが活発な意見交換を行った。
- 【日時】 シーニックカフェミーティング(第12回平成23年4月15日、第13回平成23年12月7日)
- 【場所】 第12回阿寒湖まりむ館 ユーカラ、第13回弟子屈縄のれん
- 【主催】 シーニックカフェプロジェクト
- 【参加人数】 シーニックカフェプロジェクト参加 30名・シーニックカフェ来場者 10000人(カフェ利用者累計)

Scenic Cafe
 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイにあるシーニックカフェは、独自の情報発信拠点です。地域住民が活動する、ドライブ観光情報が手に入ります。地産地消の旬しいグルメが楽しめるまで、是非お立ち寄り下さい。

Pan de Pan 阿寒湖エリア
 釧路湿原阿寒湖阿寒湖遊園地 電話 TEL:0154-431-4188
 営業時間 8:30~18:30(休業) FAX:0154-432-8818

Home Sweet Home 弟子屈エリア
 弟子屈町にあるペーパーカフェ。阿寒湖阿寒湖遊園地のおいしく、人気を使ったパンやデザートが楽しめる。地元産の小麦粉、卵、バター、生クリームが人気。お土産も、お土産も豊富です。

caffè kaiyodai 中標津エリア
 中標津町東津路209-14(東津路) 電話 TEL:0153-74-429
 営業時間 8:00~17:30(休業) FAX:0153-74-429

gelato sirtotoco 中標津エリア
 中標津町東津路27日 電話 TEL:0153-73-0116
 営業時間 10:30~17:30(休業) FAX:0153-73-0116

ビギナーズドライブ マップとは
 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイの「ビギナーズドライブマップ」です。「ここに行けば間違いなし!」の観光ポイントを紹介しています。

ドライブ情報満載! モバイルサイトのご案内
 地域情報があつまるモバイルサイトやグルメ、ブログ、道路交通情報など、ドライブ観光情報を発信しています。外国人観光客向けコンテンツもあります。
<http://www.scenic94.jp/mob>

シーニックバイウエイ(Scenic Byway)とは
 シーニックバイウエイ(Scenic Byway)とは景観を意味するシーニック(Scenic)の形容詞とバイウエイ(Bypass)と、お土産を意味するバイパス(Bypass)を組み合わせた言葉です。地味な町並みが特徴。景観や自然環境(気候)など、地域の魅力を最大限に引き出すための活動を行っています。

移動距離・時間 マップ
 野鳥観察にやさしいドライブをしよう!
 野鳥観察にやさしいドライブをしよう! 野鳥観察にやさしいドライブをしよう! 野鳥観察にやさしいドライブをしよう!

MENU
 Menbu nabe soodles, Menbu pork and vegetables are all locally produced.

- もりそば Mori soba ¥700
Cold plain soba noodles with cold dipping sauce.
- とろろそば Tororo soba ¥700
Soba noodles without Japanese Mountain Yam. You could choose either warm soup noodles or cold soup with dipping sauce.
- けんちんそば Kenchin soba ¥800
Soup soba noodles with a variety of vegetable such as, carrot, pumpkin, edamame and etc.
- カレー南蛮そば Carry nambu soba ¥800
Carry soup soba noodles.
- ビーフカレー Beef carry with rice ¥800
With fried vegetable toppings including egg plant and bell pepper, and separately served miso.
- 摩周ポーク肉炒め定食 Menbu-pork & vegetable stir-fried combo ¥1100
Rice and miso soup are separately served.
- ジンギスカン定食 Genjish Khan Mongolian barbecue combo ¥1000
You cook at your table yourself sliced autocooked vegetables. Rice and miso soup are separately served.
- 牛カルビ定食 Beef short rib barbecue combo ¥1500
Enjoy grilling beef short ribs and vegetables at your table. Rice and miso soup are separately served.

900sougen Home Sweet Home

マップ類の作成(例:ビギナーズドライブマップ)

コミュニケーションツール作成

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：「釧路湿原-阿寒-摩周バリフリツーリズム」推進体制づくり

- 【概要】 インターネットの公募から、東京都より2名の調査員（高齢者＋同伴者）を招き、介助ヘルパーが同行する形でのモデルツアーを実施した。ツアーを通じて、高齢者や障がい者の旅行におけるサポートのあり方、地域主体となった“おもてなしする体制”のあり方を把握するための検証調査を行った。
- 【日時】 平成23年11月15日～17日（2泊3日）
- 【場所】 釧路市丹頂鶴自然公園、摩周湖展望台、硫黄山、屈斜路湖・砂湯、阿寒湖遊覧船など
- 【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- 【参加人数】 2名（高齢者＋同伴者）



モデルツアーのパンフレットの作成

●高齢者・障がい者に優しい観光地づくりモニター調査員について

調査員は、調査員としてのスキルや経験は問いません。高齢者や障がい者の方を案内する経験や知識があれば、もちろん歓迎いたします。調査員としてのスキルや経験は問いません。高齢者や障がい者の方を案内する経験や知識があれば、もちろん歓迎いたします。

●実施内容

調査員	2名	調査員費用	2名	調査員費用	2名
調査員	1名	調査員費用	1名	調査員費用	1名

●実施期間

11月17日～19日

●実施場所

釧路市丹頂鶴自然公園、摩周湖展望台、硫黄山、屈斜路湖・砂湯、阿寒湖遊覧船など

●お問い合わせ先

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 調査員募集事務局

〒985-0801 釧路市南十区南十町1-1-1 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ事務局

TEL: 0155-22-0022 / E-mail: info@scenicbyway.jp



モニターツアーの様子

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：そらの森 植樹会(景観まちづくり部会)

【概要】景観まちづくり部会では、弟子屈飛行場跡地での森づくり活動をH22年度より開始し、飛行場跡地の自然再生の森づくりも目指している。今年度は森の名称を公募し、名古屋市在住の方が「飛行場跡地の森から夢は世界の空へ広がります。とっても楽しい森なるように」との思いを込めて名づけた「そらの森」に決定した。

【日時】平成23年10月15日 9時～12時

【場所】弟子屈町飛行場跡地(一般国道241号沿)

【主催】景観まちづくり部会 Clear Stream Scenic Forestプロジェクト・弟子屈エリア

【参加人数】30名



参加メンバー



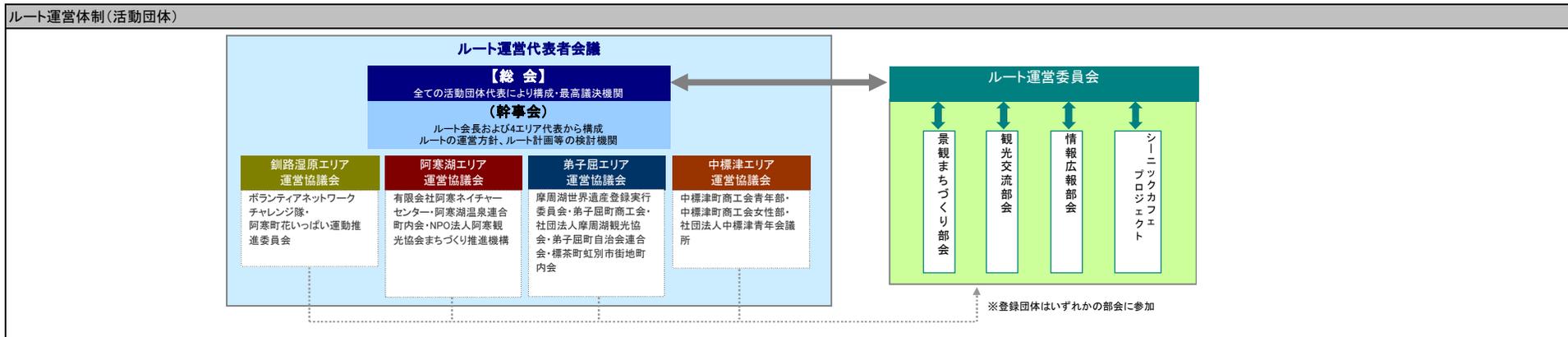
植樹の様子

くرمみ拾い

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2012/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

活動団体
 釧路湿原エリア: ボランティアネットワークチャレンジ隊・阿寒町花いっぱい運動推進委員会
 阿寒湖エリア: NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、(有)阿寒ネイチャーセンター、阿寒湖温泉連合町内会
 弟子屈エリア: 摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会、(社)摩周湖観光協会、弟子屈町自治会連合会、標茶町虹別市街町内会
 中標津エリア: 中標津町商工会青年部、(社)中標津青年会議所、中標津町商工会 女性部 **<全13団体>**



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議			●6/28 (総会)										幹事会・運営委員会の定期的な開催の他、本年度は植樹活動も実施した。しかしながら、開催していない分科会もあり、次年度は積極的な開催を行いたい。
	幹事会・運営委員会	●5/10 (合同)				●8/12 (合同)		●10/3 (合同)		●12/15 (合同)		●2/20 (合同)		
	分科会	●4/15 カフェミーティング	●5/15 植樹会(景観) ●5/29 中標津清掃(景観)	●6/4 クリーンワーク(景観)				●10/10 カフェプロジェクト ●10/15 植樹会(景観)		●12/7 カフェミーティング		●2/4 カフェプロジェクト		
	実行委員会等					●8/12 ツア-検討会 ●8/30-31 十勝視察				●11/15-17 モニター ツア-				

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2012/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施			●6/28 (本会)										6月に本会を実施した。次年度以降も、積極的に開催を行いたい。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2012/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成23年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
<p>①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす></p>	<p>1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)</p>	情報拠点シーニックカフェの連携への参加	<ul style="list-style-type: none"> ●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日 	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から2名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・ルート内5箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 	○情報拠点シーニックカフェの連携への参加、沿道花壇の植栽活動への参加、ルートHPの更新等、様々な当該ルート内で実施された地域活動に参加した。 ○来年度以降も、関係行政機関と連携を図り、積極的な活動参加およびサポートを進め、地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくりに繋げたい。	1
		シーニックカフェスタンプラリーへの協力(情報拠点シーニックカフェの連携)	<ul style="list-style-type: none"> ●スタンプラリー実施: 平成23年4月29日～10月31日 	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、釧路開発建設部が管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示に向けて調整を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		2
		シーニックカフェ・道の駅・管内空港と連携したスタンプラリーの実施への協力	<ul style="list-style-type: none"> ●スタンプラリー実施: 平成23年7月16日～10月31日 	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・連携スタンプラリーの実施にあたり、釧路開発建設部が管内の道の駅及び管内空港との連絡調整等を行い、シーニックカフェとの連携がスムーズ行われるようサポートを行った。また、あわせて各連携施設へラリーマップの設置依頼を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		3
		沿道花壇植栽への参加	平成23年6月(各団体個別実施)	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・弟子屈町内で実施した植栽活動では、釧路開発建設部弟子屈道路事務所の職員が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		4
		地下歩行空間(札幌市)でのPR活動への参加	平成23年7月24日～25日	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・地下歩行空間で実施したPR活動では釧路開発建設部から4名が参加し、地域と一体化した地域PRを行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		5
		ルートHP更新への協力	通年(随時)	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民がライターとなり、情報発信を行っているHPに、釧路開発建設部から4名がライターとして登録し、旬な情報を発信を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な情報発信を行うほか、関係自治体などにもライター登録をお願いし、充実した情報発信が行える体制づくりを進めたい。 		6
		既存植樹活動への参加	平成23年5月15日	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・標茶町内で実施した既存植樹活動(虹別コロカムイ会シマフクロウの森づくりに、釧路開発建設部から4名が参加し、活動団体等と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。 		7
		そらの森 植樹会への参加	平成23年10月15日	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・景観まちづくり部会で主催した植樹イベントに、釧路開発建設部から10名が参加し、活動団体等と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。 		8

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2012/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成23年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
	2) 食を知る・活かす	情報拠点シーニックカフェの連携への協力	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	<ul style="list-style-type: none"> 活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から2名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ルート内5箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、釧路開発建設部が管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示に向け調整を行った。 来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		1
		シーニックカフェスタンプラリーへの協力(情報拠点シーニックカフェの連携)	●スタンプラリー実施: 平成23年4月29日～10月31日	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、釧路開発建設部が管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示に向けて調整を行った。 来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		2
		地下歩行空間(札幌市)でのPR活動への参加	平成23年7月24日～25日	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> 地下歩行空間で実施したPR活動では釧路開発建設部から4名が参加し、地域と一体化した地域PRを行った。 来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		5
	3) 文化や歴史を知る・活かす	懐かしシーニックパネル展(釧路空港・中標津空港)での調整	釧路空港(6月10日～10月7日)、中標津空港(7月14日～10月31日)	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> 連携事業の一環として、管内の空港ロビーにおいて、シーニックバイウェイが主催するパネル展を開催するために、釧路開発建設部が各空港と調整等を実施した。 来年度以降も引き続き、連携の機会をつくり、調整等を行いたい。 		15
		沿道花壇植栽への参加	平成23年6月(各団体個別実施)	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> 弟子屈町内で実施した植栽活動では、釧路開発建設部弟子屈道路事務所職員が参加し、積極的な意見交換を行った。 来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		4
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ、整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	沿道花壇植栽への参加	平成23年6月(各団体個別実施)	釧路開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> 活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から2名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ルート内5箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、釧路開発建設部が管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示に向け調整を行った。 来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		1
	2) 観光客を受け入れる環境を整える	情報拠点シーニックカフェの連携への協力	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	<ul style="list-style-type: none"> 活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から2名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ルート内5箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、釧路開発建設部が管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示に向け調整を行った。 来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。 		

○リレー清掃の参加や沿道花壇の植栽活動への参加等、様々な当該ルート内で実施された地域活動に参加した。
○来年度以降も、関係行政機関と連携を図り、積極的な活動参加およびサポートを進め、競争力のある地域(ルート)づくりに繋げたい。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2012/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成23年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
	3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	情報拠点シーニックカフェの連携への協力	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から2名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・ルート内5箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 ・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、釧路開発建設部が管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示に向け調整を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。		1
	4)各種情報を伝える・蓄える	ルートHP更新への協力	通年(随時)	釧路開発建設部	・地域住民がライターとなり、情報発信を行っているHPに、釧路開発建設部から4名がライターとして登録し、旬な情報を発信を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な情報発信を行うほか、関係自治体などにもライター登録をお願いし、充実した情報発信が行える体制づくりを進めたい。		6
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1)自然と共に生きる意識を育てる	そらの森 植樹会への参加	平成23年10月15日	釧路開発建設部	・景観まちづくり部会で主催した植樹イベントに、釧路開発建設部から10名が参加し、活動団体等と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。	○そらの森植樹会等、様々な当該ルート内で実施された地域活動に参加した。 ○来年度以降も、関係行政機関と連携を図り、積極的な活動参加およびサポートを進め、持続可能な地域(ルート)づくりに繋げたい。	8
		沿道花壇植栽への参加	平成23年6月(各団体個別実施)	釧路開発建設部	・弟子屈町内で実施した植栽活動では、釧路開発建設部弟子屈道路事務所の職員が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。		4
	2)自然を保全・活用する仕組みを創る	既存植樹活動への参加	平成23年5月15日	釧路開発建設部	・標茶町内で実施した既存植樹活動(虹別コロカムイ会シマフクロウの森づくり)に、釧路開発建設部から4名が参加し、活動団体等と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。		7
		そらの森 植樹会への参加	平成23年10月15日	釧路開発建設部	・景観まちづくり部会で主催した植樹イベントに、釧路開発建設部から10名が参加し、活動団体等と積極的な意見交換を行った。 ・来年度以降も引き続き、活動に参加し、意見交換を進めたい。		8
	3)循環型社会のビジネスモデルを育てる	情報拠点シーニックカフェの連携への協力	●カフェ営業: 通年(一部冬期休業) ●カフェミーティング実施: 平成23年4月15日・12月7日	釧路開発建設部・釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町	・活動内で実施された「シーニックカフェスタッフミーティング」に釧路開発建設部から2名が参加し、積極的な意見交換を行った。 ・ルート内5箇所のカフェでは、ルート内行政機関および観光協会が発行するパンフレットの設置を行っており、釧路市・弟子屈町・標茶町・鶴居村・中標津町・別海町からパンフレットの提供をうけた。 ・シーニックカフェスタンプラリー実施の際は、釧路開発建設部が管内の道の駅にマップの設置およびポスターの掲示に向け調整を行った。 ・来年度以降も引き続き、積極的な活動参加およびサポートを進めたい。		1

5. 平成22年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2012/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

平成22年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p> <p>特に、本格実施から6年が経過し指定ルートも拡大、地域特性に応じた多種多様な成功事例や、課題等も明確になってきていることから、それらを共有しシーニックバイウェイ北海道をさらに活性化させる方策を検討されたい。</p>	<p>・当該ルートでは、シーニックカフェプロジェクトにおいて、民間カフェ5店舗と連携し、ドライブ観光の推進にむけて、スタンプラリーの実施や地域内の観光パンフレットの設置、オリジナルパンフレットの製作など、様々な企画立案と実行を行っている。</p> <p>・ルートHPにおいても、37名の地域ライターによる情報発信が行われており、地域ライターの趣味や職域を活かした個性的な情報発信による、PR活動が行われている。</p> <p>・弟子屈飛行場跡地を活用した森づくり(そらの森)を実施しており、地域住民や子供たちを声掛けを行い、地域全体で育む森づくりを行っている。</p> <p>・高齢者や障がい者を対象とした、バリアフリーツーリズムの検討として、モニターツアーを実施し、事業化に向けた課題の抽出を行っている。</p> <p>以上4点の活動を中心に、当該ルートでは、ブランドの形成、ルート活動の基盤強化を進めている。</p>	

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2012/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

平成22年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p> <p>特に、本格実施から6年が経過し指定ルートも拡大、地域特性に応じた多種多様な成功事例や、課題等も明確になってきていることから、それらを共有しシーニックバイウェイ北海道をさらに活性化させる方策を検討されたい。</p>	<p>・シーニックカフェプロジェクトやルートHP、森づくりなど、当該ルートで実施している活動に対して、調整や作業など、必要な項目について、適宜サポートを行っている。</p> <p>・平成23年は、釧路空港、中標津空港で「懐かシーニックパネル展」を、さらに道の駅を加えた連携スタンプラリーを実施したが、空港、道の駅との調整や準備においてサポートを行った。</p> <p>来年度以降も、活動団体の意向の踏まえつつ、ブランドの形成やルート活動の基盤強化に繋がるサポートを、柔軟に行いたい。</p>	